

15番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 学校給食について</p> <p>【質問趣旨】 昭和29年学校給食法が制定され、本市においては平成12年から学校給食センターの調理業務委託も始まった。その後、平成21年学校給食衛生管理基準が施行。学校給食に関わる全ての皆様のご尽力により、安全で安心な美味しい給食が毎日提供されている。瀬戸の未来を担う瀬戸の子どもたちの心身の発達のための学校給食について、調理方式・職員体制・地場産物の活用促進・食育推進等、多面的に伺う。また、災害時の給食調理室の果たす役割にも触れ、安全で安心な持続可能な学校給食について見解を伺っていく。</p>	<p>(1) ウイズコロナ対策について</p> <p>(2) 災害対策について</p> <p>(3) 学校給食の運営について</p>	<p>① 新しい生活様式における、学校給食の現状と課題について伺う。</p> <p>② コロナ感染症対策による、県産水産物学校給食提供推進事業（県内水産物のウナギ・ニジマス・シラス）、県産牛肉等学校給食提供推進事業（県内畜産物の名古屋コーチン・牛肉）について、学校給食における活用状況を伺う。</p> <p>③ そうした農畜水産業等への理解促進を図るための取り組みについて、児童生徒への働きかけの状況を伺う。</p> <p>① 災害時の対策において、停電時にも炊き出し可能な「非常用発電機」や「専用釜」の学校調理室等への導入について現状と課題を伺う。</p> <p>① 栄養教諭等の役割と配置について、現状を伺う。</p> <p>② 調理方式について、本市は民間委託も取り入れながら、単独校方式（学校調理方式）、センター方式（共同調理方式）を合わせながら特色をもって運営されている。メリット・デメリットを踏まえ、今後の方向性について伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15 番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 学校給食の地産地消の取り組みについて	<p>① 地産地消を推進する上で、学校給食との連携をさらに拡大していく必要があると考える。瀬戸市産の学校給食における昨年度の実績と価格総額について伺う。</p> <p>② 学校給食における地産地消の拡大については、価格・量において課題もあるのではないかと考える。どのように分析されているのか。見解を伺う。</p> <p>③ 6月、11月が県内産の活用月間と聞いている。本市においても地場産物（農産物・卵・畜産物等）を給食に活用することに取り組んでいると思うが、その2ヶ月以外における取り組みはあるのか伺う。</p> <p>④ 学校給食に供給可能な地場産物（農産物・卵・畜産物等）について、年間必要量や予算等を具体的に示すことができれば、給食への安定供給にも繋がると考える。現在の学校給食への地場産物を取り入れる仕組みを踏まえ、本市の地産地消の見解を伺う。</p> <p>⑤ 本市の魅力は、牛・豚の飼育、鳥（鶏卵）、酪農と揃っている点である。瀬戸の豚も来年には復活すると聞く。そうした地場産物を学校給食に活用する事は、市の魅力や地場産物を理解してもらい機会となり、子どもたちに地元の食材を食べてもらいこととなり、食育の推進にも繋がると考える。市長は、常々「地消地産」と語っておられるが、学校給食に地場産物（農産物・卵・畜産物等）を積極的に活用する考えはあるのか。見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15 番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(5) 食育の見える化と情報発信について</p> <p>(6) 学校給食費について</p>	<p>① 学校給食の方針として、基本方針と7つの重点目標が示されているが、本市としての学校給食のコンセプトについて、瀬戸の未来を担う子どもたちの心身の発達のため、本市独自の学校給食の特徴や理念を、もっとシンプルでわかりやすく示していくことも必要ではないか。見解を伺う。</p> <p>② 学校給食のコンセプトの整理や、調理現場の見える化、地産地消等を SNS 等も活用して広く情報発信していくことで、食育の推進にも合致した事業に繋がると考えるがどうか。見解を伺う。</p> <p>① 学校給食費（小学校1食260円・中学校1食300円）の、小中学校それぞれ1人あたりの年間徴収金額と市全体の徴収金額について伺う。</p> <p>② 学校給食費の無償化について、文部科学省による全国調査も実施され、実施や効果の見える化がされ、全国で増加傾向にあることもわかった。義務教育期間の保護者負担の中で、子どもの給食費が大きな割合を占めており、所得制限を設けず給食費の完全無償化を目指していくことは、教育費の負担軽減、子育て支援、子育て世代の定住促進の効果にも繋がると考える。食への平等、貧困対策等の観点からも、今後、市独自の実態調査や議論も必要ではないかと考える。どのような認識か。見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15 番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>③ 学校給食への自治体独自の補助について、県内においては、消費税率変更及び物価上昇の動向に対し、子育て世代への経済的支援として公費負担をしている自治体がある。また、地場産物を豊富に取り入れた学校給食を持続的に提供できるよう、保護者負担の学校給食費とは別途示し、市負担として具体的に補助している自治体もある。このような動向に対し、どう認識しているか。今後、本市においても、総合的に議論する必要があるのではないか。見解を伺う。</p>

- 備考
1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。